

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平7-10517

(43) 公開日 平成7年(1995)2月14日

(51) Int.Cl.⁶

F 1 6 B 5/06

37/08

識別記号

Q

B

片内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 1 F D (全 3 頁)

(21) 出願番号 実願平5-43952

(22) 出願日 平成5年(1993)7月16日

(71) 出願人 000151597

株式会社東郷製作所

愛知県愛知郡東郷町大字春木字廻池 1 番地

(72) 考案者

落合 富美夫

愛知県愛知郡東郷町大字春木字廻池 1 番地

株式会社東郷製作所内

(72) 考案者

秋元 真介

愛知県愛知郡東郷町大字春木字廻池 1 番地

株式会社東郷製作所内

(74) 代理人

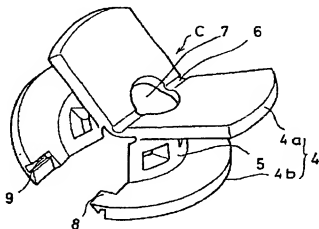
弁理士 ▲高▼木 芳之 (外 3 名)

(54) 【考案の名称】 クリップ

(57) 【要約】

【目的】 作業性の向上とコストの低減を図る。

【構成】 ダッシュサイレンサ 1 の取付孔 3 に差し込み可能な基部 5 と、その上下に取付孔 3 周りを挟持する押さえ片 4 a、4 b を配してなるクリップ C において、クリップ C 全体をヒンジ 6 を介して分割する。そして、取付孔 3 へ折れ曲がり状態のままで差し込み、この後、全体を整合状態に変形させることにより、クリップ C がダッシュサイレンサ 1 に対して挟持状態で組み付けられる。



1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 被取付け部材の適所に貫通された取付孔へ挿入可能な基部と、この基部の上下に対向して張り出され前記取付孔周りを上下から挟持する一対の押さえ部とを備えてなるクリップであって、全体は前記基部の軸芯と平行な分割面によって分割されるとともに、分割された部分はそれぞれヒンジ片により折れ曲がりおよび整合可能に接続されて、前記取付孔内で折れ曲がり状態から整合状態へ変形させることで被取付け部材へ組み付け可能に形成されていることを特徴とするクリップ。

【図面の簡単な説明】

【図1】 クリップの斜視図

【図2】 整合状態にあるクリップの平面図

2

【図3】 折れ曲がり状態のクリップを示す断面図

【図4】 組み付け状態を一部破断して示す断面図

【図5】 第2実施例に係るクリップの折れ曲がり状態を示す正面図

【図6】 整合状態のクリップの斜視図

【図7】 第3実施例のクリップの斜視図

【図8】 従来のクリップの組み付け作業を示す断面図

【図9】 組み付け後の状態を示す断面図

【符号の説明】

1…ダッシュサイレンサ

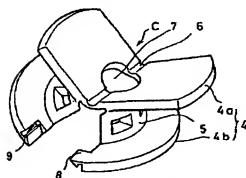
3…取付孔

4…押さえ部

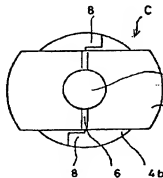
5…基部

6…ヒンジ

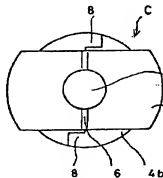
【図1】



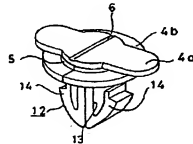
【図3】



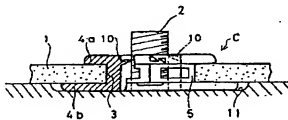
【図2】



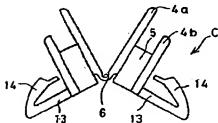
【図6】



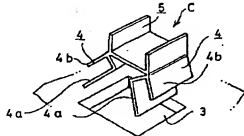
【図4】



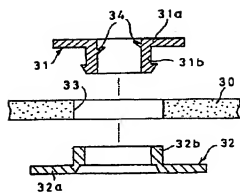
【図5】



【図7】



【図8】



【図9】

